



富竹中だより

甲府市立富竹中学校
学校だより 第2号
令和2年5月28日
文責 河住 洋

待ちに待った学校再開！

全学年揃って令和2年度のスタート



約二ヶ月に渡る臨時休校が終わり、学校が再開され、5月25日（月）に放送による始業式を行いました。コロナウイルスへの対応から簡略化し、短時間でありましたが、やっとスタートが切れました。今年度は、1年生67名、2年生71名、3年生81名の全校生徒219名と教職員29名での船出となりました。

始業式では、校長として次のような話をしました。

「大切にしてほしいことが2つあります。1つは「挑戦」と言うことです。皆さんには、無限の可能性があります。自分で限界を決めず、いろいろなことに前向きにチャレンジしてください。昨日より今日、今日より明日と自らを成長させていきましょう。もう一つは、「感謝」です。今の皆さんは、日常の大切さ、普通にできることのありがたさが分かるはずです。これまで当たり前と感じていたことも意味のある尊いことであること、その日常を支えてくれている周りの人に感謝の気持ちを持って毎日を過ごしてほしいと思います。「挑戦」「感謝」が今年度のキーワードです。また、日常に目を戻してみると学校が再開されたとは言え、私たちを取り巻く状況は相変わらず厳しく、制約も多く、再び休校になる可能性が無くなったわけではありません。私たちは自分と周囲の人（皆さんは【自分と友達】）との安全の確保、安全への相互の配慮をしながらの学校の再開です。家庭でも学校でもこれまで同様コロナウイルス対策への関心を高く持って、生活をしてください。特にこの2週間が富竹中学校の新しい学校生活のスタイルを確立するために大切な2週間になります。このことを一人一人がしっかり受け止めて行動に表しましょう。皆さんと一緒にこの困難を乗り越えたいと思います。振り返ったときに「良い一年であった」と思えるように、一緒に頑張っていきましょう。」

（完全ではないですが）学校本来の姿が戻りました。生徒が登校してきます。

笑顔や元気の良いあいさつがあります。無くしたくない、大切にしたい風景です。



67名の新入生を迎えました！ようこそ富竹中学校へ

5月24日（日）に2ヶ月遅れの入学式を行いました。冬服での登校でしたので、暑さが心配でしたが具合が悪くなる生徒もでること無く、無事執り行うことができました。短い時間でしたが大きな節目をつくることができ本当によかったです。新入生を迎える言葉でも言いましたが、「昨日より今日、今日より明日という前向きな姿勢」「相手を思い遣る気持ち」を大切に、仲間と力を合わせて何事にも頑張り、共に成長して行ってほしいと思います。充実した中学校生活となることを願っています。



新入生 『誓いの言葉』

中前早瑛さん（一部抜粋）

私は、この富竹中学校で一生懸命に取り組みたいことがあります。一つ目は、勉強です。新しい教科も増え、小学校の時より難しくなります。授業中は先生の話をしっかり聞きノートもしっかり取り、予習や復習にも自主的に取り組みたいです。二つ目は、部活動です。私は、バレー部に入り心身ともに鍛えていきたいと思っています。また、学年の枠を越えて先輩方との思い出も大切にしたいと思っています。ここにいる全員が三年間一生懸命取り組むことができる部活動を見つけられると良いと思います。三つ目は、学園祭などの学校行事です。自分たちで立案し、自分たちで創り上げるものが学園祭だと聞いています。クラスの仲間と協力し合い、全力で取り組みたいと思います。中学校生活では、時間を有効に使い、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。新しい生活への不安もありますが、先生方や先輩方のご指導を仰ぎながら夢や目標に向かって様々なことにチャレンジし、一生懸命に取り組みたいと思います。伝統あるこの富竹中の名に恥じぬよう自覚と責任をもち、有意義な中学校生活を送ることをここに誓います。